

島田洋七さん講演会開催

■6月23日 越前大仏



公益社団法人勝山青年会議所の創立45周年記念事業で、ベストセラー「佐賀のがばいばあちゃん」で有名な漫才師島田洋七さんの講演会が開催され、巧みな話術に会場は大爆笑に包まれました。

炭焼きの体験学習

■6月26日 荒土町細野



荒土町ふるさとづくり推進協議会が荒土小学校5年生20人を招き、炭焼きの体験学習を行いました。児童たちは、狭い炭焼き窯にナラの原木を運び込んで並べました。

水防訓練を実施

■6月30日 弁天緑地



水害に備える水防訓練が行われ、土のうの作成や水流を抑えるための木枠作りの実地訓練に、市内消防団員や市職員などが参加しました。今回初めて消防団協力事業所2社も参加しました。

福井大学と包括的連携協定を締結

■6月25日 教育会館



勝山市は福井大学と包括的連携協定を締結しました。今後は、人的・物的資源を相互活用し、様々な事業を共同で実施していきます。

福井大学 眞弓光文学長のコメント「これまで個々に取り組んできた事業に“横串を通す”ような連携を図りたい。ますます地域に貢献する取り組みのほか、教職・工学系の人材育成の場や教育・研究のフィールドとして、勝山を活用していきたい。」

山岸市長のコメント「様々な取り組みを大学と連携して行うことで、学術的な裏付けができる。また、市民が大学をより身近に感じることができると期待している。」

明治大学との官学連携アカデミー

■6月15日 すこやか



明治大学の加藤久和教授を招いて、官学連携アカデミーが開催され、少子高齢化問題について考える講演会が行われました。身近な問題とあって、参加者は真剣に講演に聞きっていました。

石探訪 2

山端祥玉頌徳碑

この碑は、平泉寺町下荒井の白山神社境内に建てられている。高さ約3メートルで、その傍らには約2メートルの来歴等を記した碑が別に建つ。

山端祥玉は郷土を愛する念が深く、公共事業、育英事業などへの寄附・資金援助、なかでも区の村社白山神社造営に巨財を投じた。「郷民斎シク景慕措ク能ハス茲ニ頌徳ノ碑ヲ建立シ以テ其徳業ヲ不朽ニ傳ヘントス」と碑文の最後は締めくくられている。こうした氏の行為に対し、区民の総意で碑が建てられた。

祥玉は、後に日本写真界の権威となった人物である。碑文ならびに『大野郷友録』により、その履歴を簡単にたどってみる。祥玉は本名を啓之介といい、明治24年(1891)山端源右衛門の五男として下荒井区に生まれた。15才で写真の道を志し、大阪へ次いで東京で修業を積んだ。

一旦兵役に就くが、その後海外で過ごすこと20数年、シンガポールなど南方で写真家としての腕を磨いた。大正の末に帰国し、東京築地で高速度輪転写真を始めた。これは本



邦初で、一気に名声が高まり、陸海軍観兵式や天皇皇后両陛下の写真撮影の委嘱を受けるようになった。この間、欧米並びに南北アメリカ大陸視察の命を受けてその責務を果たす一方、各種会社の経営者として、自らも国際宣伝企業株式会社を創設した。このように祥玉は日本文化を世界に紹介し、日本の国際貿易進展にも貢献した人物でもある。

祥玉の子(小川)も父の後をついで、日本を代表する写真家、従軍カメラマンとなった。長崎市への原子爆弾投下直後に市内に入り、被爆の状況を撮影したことで知られている。書籍として『NHKスペシャル・長崎よみがえる原爆写真』がある。

おすすめ図書



勝山市立図書館 ☎88-6000
ホームページ <http://tosyokan.city.katsuyama.fukui.jp/>

一般図書



「冒険の遺伝子は天頂へ」
三浦 雄一郎／著
*「かつやまときめき大使」
祥伝社

60代で目標を失った著者は、70歳・75歳の時にエベレスト登頂で驚異の復活を遂げ、80歳で3度目の登頂を成功させた。彼を駆り立てるのは何か。その冒険スピリットの根源に迫る。

中高生図書



「ためらいがちのシーズン」
唯川 恵／著
光文社

陽菜は、5年ぶりに戻ってきた懐かしい町の中学校で、友人たちと再会。初恋の陸人とも、ときめきの出会いが。だが、親友だったりなは、すっかり変わってしまっていて…。少女が起こした小さいけれど素敵な奇跡の物語。

こども図書



「チョーシンくんのだいぼうけん」
二見 正直／作
偕成社

チョーシンくんは、ピョーシンくんをまねて速くまわったり、タンシンさんをまねてじっと動かないでいたりして、おこられてばかり。「ちがうものになるよ」と、時計をとびだしたチョーシンくんが外の世界で見つけたものは、いったい何だったのか？

人口の動き

	5月末現在	自然動態			社会動態			6月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	12,156人	7	-11	-4	11	-14	-3	12,149人	-7人
女	13,329人	6	-8	-2	13	-27	-14	13,313人	-16人
合計	25,485人	13	-19	-6	24	-41	-17	25,462人	-23人
世帯数	8,131世帯							8,132世帯	1世帯

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成25年6月末	前年比
総件数	262件	+3件
人身事故(うち高齢者)	27件(7)	-9件(-5)
死者(うち高齢者)	1人(1)	+1人(+1)
傷者	26人	-19人
物損事故	235件	+12件

7月の納税

固定資産税 ▶ 第2期 納期限 ▶ 7月31日(水)
国民健康保険税 ▶ 第1期 口座振替 ▶ 7月26日(金)